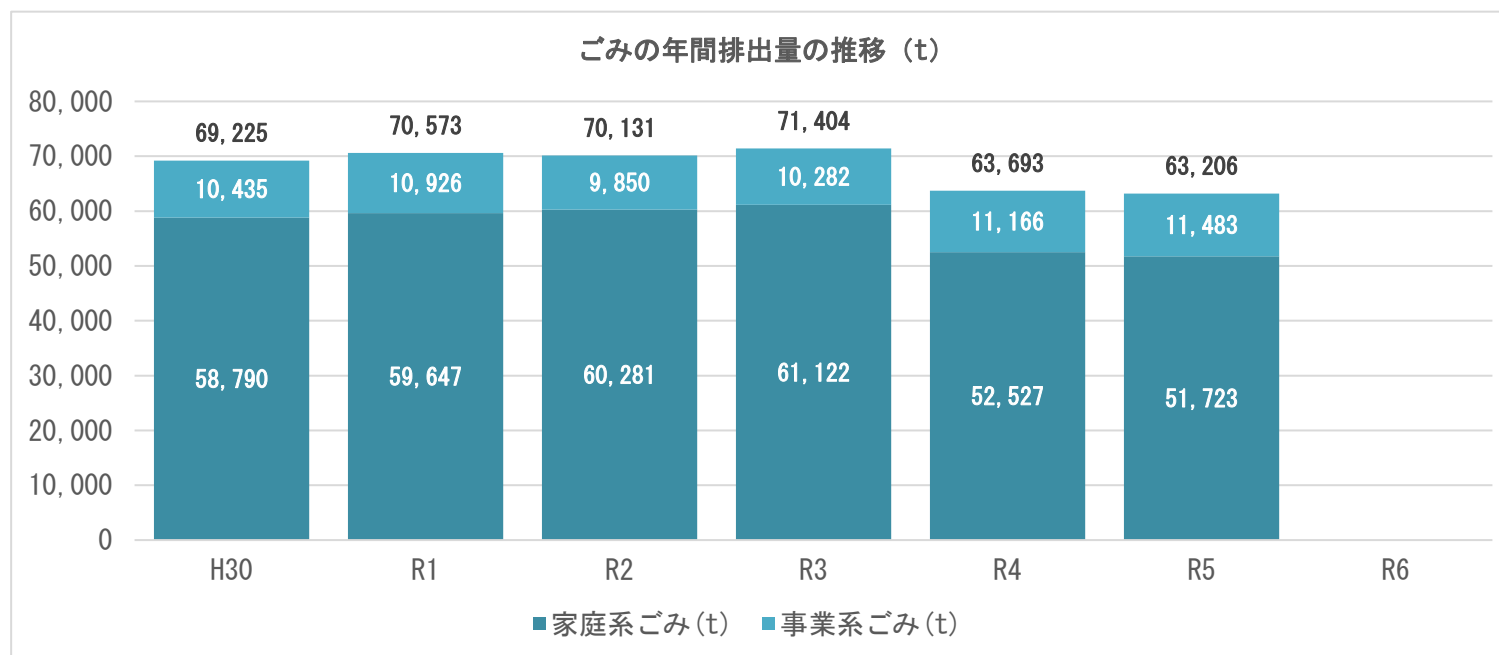


# 一般廃棄物処理基本計画における基本目標について

## 第 1 編 ごみ処理基本計画

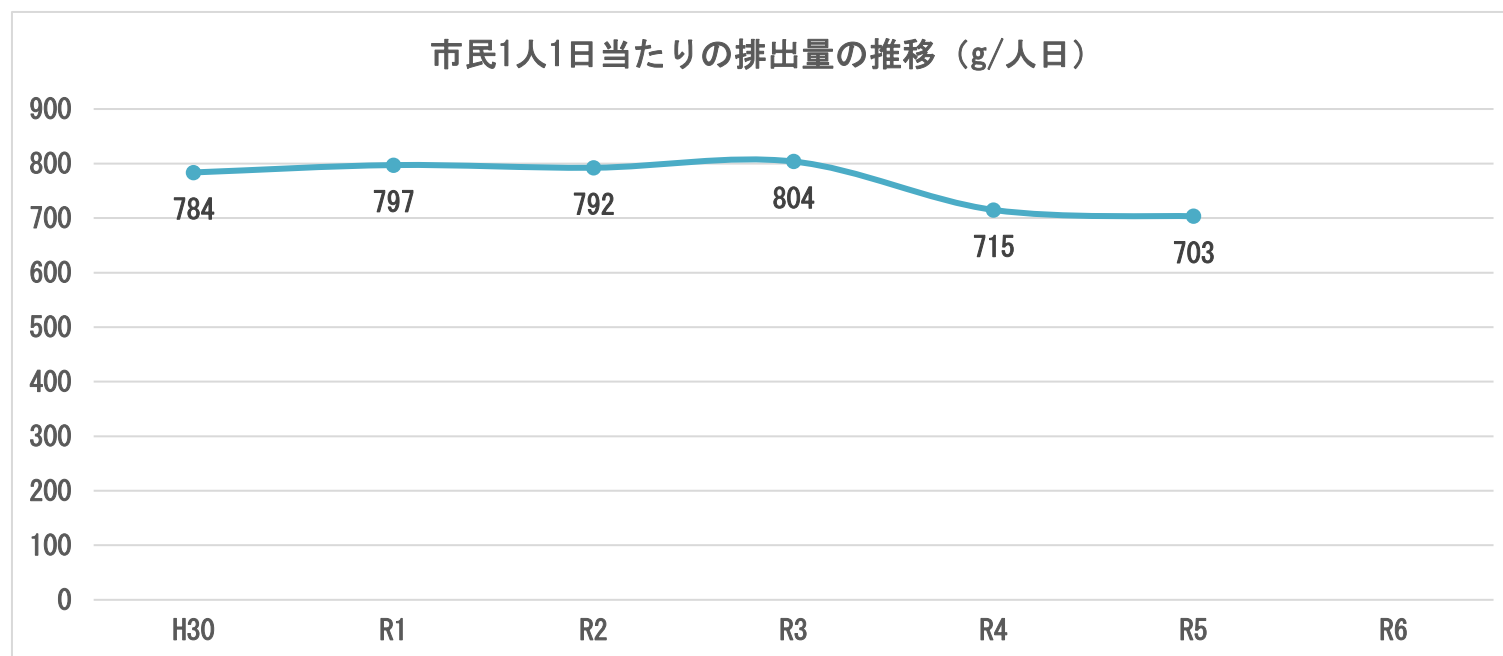
### 1 ごみの年間総排出量 [方向性：↗ 算式：-]

	後期計画						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (最終)
目標 (t)	70,990	70,531	70,096	69,571	61,095	60,629	60,044
実績 (t)	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693	63,206	
家庭系ごみ (t)	58,790	59,647	60,281	61,122	52,527	51,723	
事業系ごみ (t)	10,435	10,926	9,850	10,282	11,166	11,483	



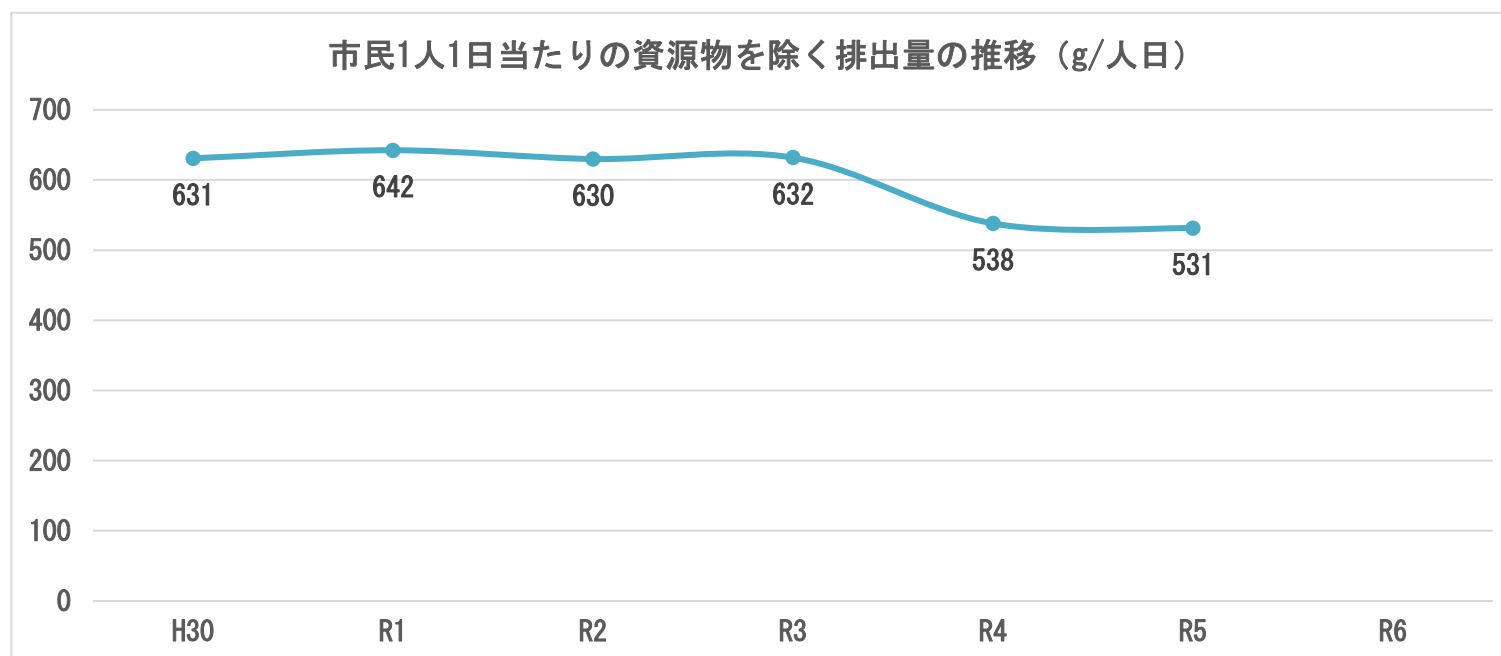
2 市民1人1日当たりの排出量 [方向性：↘ 算式：ごみ年間排出量÷365日÷人口]

	後期計画						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (最終)
目標 (g/人日)	814	806	802	797	694	688	685
実績 (g/人日)	784	797	792	804	715	703	
ごみ年間排出量 (t)	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693	63,206	
人口 (人)	242,003	241,887	242,505	243,406	244,091	245,534	



3 市民1人1日当たりの資源物を除く排出量 [方向性：↓ 算式：（ごみ年間排出量－資源物排出量）÷365日÷人口]

	後期計画						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (最終)
目標 (g/人日)	630	620	614	607	511	506	504
実績 (g/人日)	631	642	630	632	538	531	
ごみ年間排出量 (t)	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693	63,206	
資源物排出量 (t)	13,501	13,705	14,375	15,266	15,760	15,449	
人口 (人)	242,003	241,887	242,505	243,406	244,091	245,534	

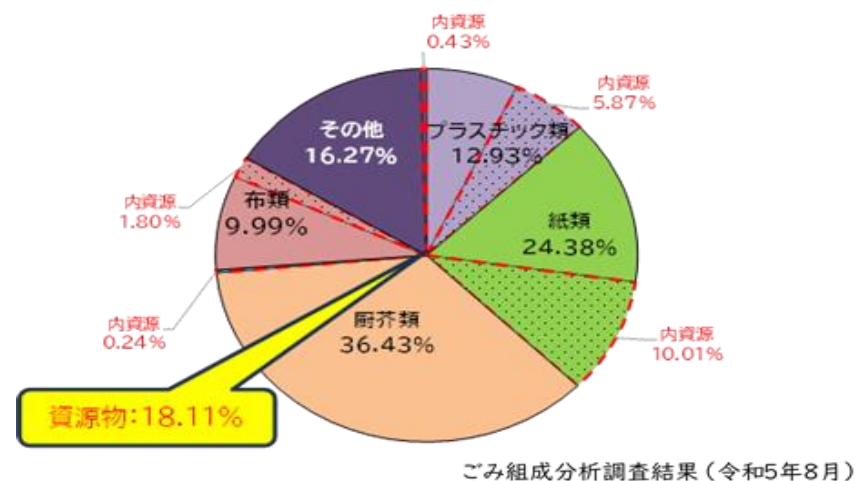
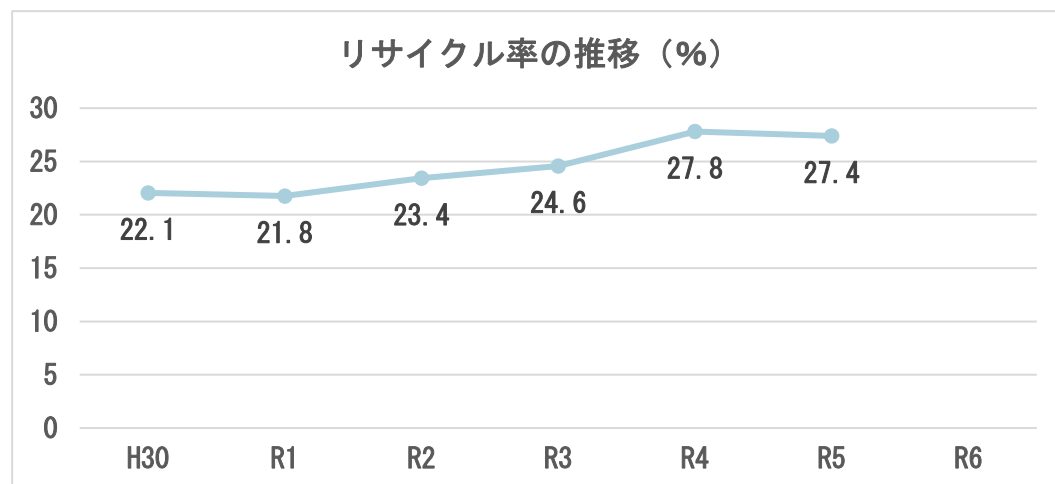


課題等

- ▶ 「ごみ有料化」実施に伴い、家庭系ごみが減少している一方で、事業系ごみは増加している。そのため、事業系ごみの減量に向けた効果的な対策を検討していく必要がある。

#### 4 リサイクル率 [方向性：↑ 算式：資源化量÷ごみ排出量]

	後期計画						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (最終)
目標 (%)	25.3	26.1	27.0	27.8	30.9	31.3	31.9
実績 (%)	22.1	21.8	23.4	24.6	27.8	27.4	
ごみ年間排出量 (t)	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693	63,206	
資源化量 (t)	15,275	15,361	16,427	17,556	17,711	17,314	
分別量 (t)	13,031	13,224	13,575	14,820	15,152	14,903	
磁選別量 (t)	424	504	520	588	237	192	
破碎前資源化量 (t)	731	579	536	571	385	393	
焼却灰再資源化量 (t)	1,089	1,054	1,796	1,577	1,937	1,826	

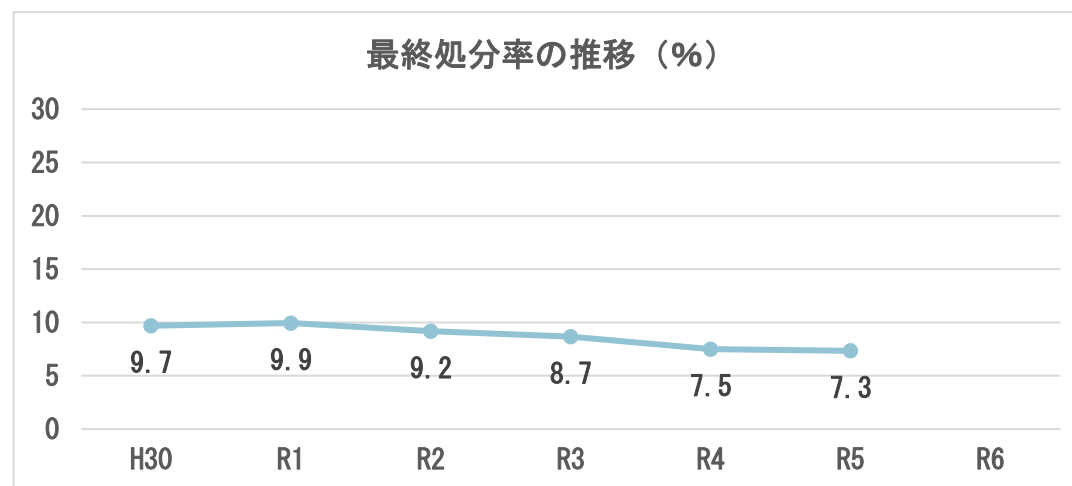


#### 課題等

- ▶ 家庭系燃やせるごみの中には、未だに多くの資源物が混入しており、それらの分別を促す効果的な対策を検討していく必要がある。
- ▶ また、プラスチック新法の施行を受け、現在、主に燃やせないごみとして処理しているプラスチック製容器包装類以外のプラスチック製廃棄物のリサイクルを検討していく必要がある。

5 最終処分率 [方向性：↘ 算式：最終処分量÷ごみ排出量]

	後期計画						
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (最終)
目標 (%)	9.4	9.0	8.5	8.1	7.5	7.2	6.5
実績 (%)	9.7	9.9	9.2	8.7	7.5	7.3	
ごみ年間排出量 (t)	69,225	70,573	70,131	71,404	63,693	63,206	
焼却処理量 (t)	55,091	56,310	55,548	55,470	47,954	47,743	
焼却残渣量 (t)	7,803	8,072	8,231	7,769	6,716	6,463	
〔焼却残渣率 (%)〕	〔14.2〕	〔14.3〕	〔14.8〕	〔14.0〕	〔14.0〕	〔13.5〕	
焼却灰再資源化量 (t)	1,089	1,054	1,796	1,577	1,937	1,826	
〔焼却灰再資源化率 (%)〕	〔14.0〕	〔13.1〕	〔21.8〕	〔20.3〕	〔28.8〕	〔28.3〕	
最終処分量 (t)	6,714	7,018	6,435	6,192	4,779	4,637	



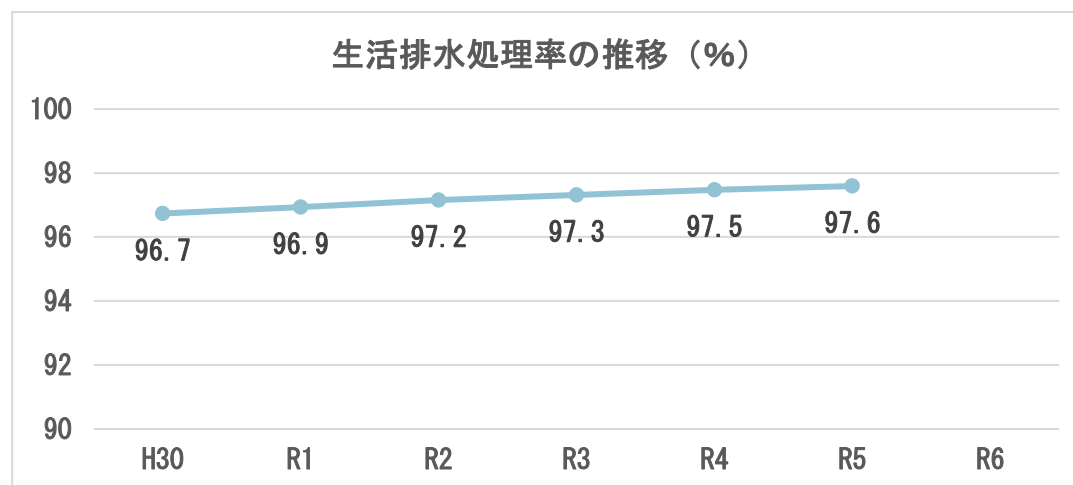
課題等

- ▶ 「ごみ有料化」実施に伴い、ごみの減量化が進んでいることに加えて、焼却残渣の資源化も進み、最終処分率は順調に推移している。
- ▶ 令和16年度以降の最終処分率“0%”を目指し、ごみの減量化を進めていくとともに、資源化ルートを確保することなど、焼却残渣の資源化を計画的に進めていく必要がある。

## 第2編 生活排水処理基本計画

### 1 生活排水処理率〔方向性：↑ 算式：水洗化・生活雑排水処理人口÷人口〕

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (最終)
目標(%)	97.6	97.8	98.0	98.2	97.5	97.7	97.9
実績(%)	96.7	96.9	97.2	97.3	97.5	97.6	
人口(人)	243,577	243,801	244,377	245,691	246,655	247,497	
水洗化・生活雑排水処理人口(人)	235,625	236,321	237,434	239,095	240,429	241,541	
公共下水道人口(人)	229,794	230,403	231,334	232,989	234,266	235,372	
合併処理浄化槽人口(人)	5,831	5,918	6,100	6,106	6,163	6,169	
単独浄化槽人口(人)	7,329	6,920	6,428	6,128	5,797	5,540	
し尿処理人口(人)	623	560	515	468	429	416	



#### 課題等

- ▶ 公共下水道(汚水)の整備に伴い、生活排水処理率は順調に推移している。
- ▶ 更なる生活排水処理率の向上に向けて、市民や事業者の皆さまが、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換など具体的な行動を起こせるよう、効果的な施策を検討していく必要がある。